

日工会報

第15号

平成20年1月29日
 発行 日立工業高校同窓会
 発行者 同窓会事務局
 日立市城南町2-12-1
 ☎ 0294 (22) 1049
 FAX 0294 (21) 4591
 印刷所 協立印刷
 ☎ 0294 (35) 7857

会長挨拶

同窓会会長 長谷川 宏



同窓会の皆様には常日頃大変お世話になっております。

母校の工業高校は、ご存知のように普通高校と違って実習などを通しての「ものづくり」が体験できることが特徴でもあります。

十六年度から三年間、文部科学省より県内工業高校として初の、日本版デュアルシステム^①の指定を受けました。今年度からは、いばらき版として取り組むようになりましたが、デュアルシステムとは、ドイツの職業教育の制度であり、希望生徒二四名が、毎週木曜日に登校しないで、学校では学べ

ない技術や技能を学び、併せて職業観や勤労観の育成をと、九一日、地元企業の協力を得て、一年間企業の従業員の方々と一緒に、製品にもなる「ものづくり」の体験でひと回り成長するのが見られ、十一月初旬に盛大に催しされた母校の文化祭の「日工祭」でも、教室にその一部が展示されておりました。すばらしい製品に感心しました。また、部活も盛んであるが、

その中の自動車部は、同窓生でもある佐藤充先生の指導のもと、ガソリン・リットル当たりの走行距離を競う、エコカーづくりでも、県大会で一〇回も優勝し、全国大会でも、過去二回優勝しているなど輝かしい実績を残しています。「ものづくり」といっても、知識と技能や技術が身に付いていなければ輝かしい実績は残せないと思います。このことが「ものづくり」の醍醐味であります。運動部での活躍では、陸上部が各種目で関東大会などの出場で上位の成績を残

しています。グラウンドの整備や防球ネットの整備も修了しましたが、老朽化した筋トレ室を建て直すことで同窓会としてもバックアップし、現在部員たちが大いに利用しています。

このように、在校生が大活躍している姿に、また、母校の校舎はもろろのこと、最新のすばらしい設備に、私が通学していた戦後の時期と大きく違い、熱心に指導されている多くの先生方がいることに、羨ましくも感じます。

知識と技術や技能を身に付け、地元企業はもろろのこと、各界で大活躍していることに同窓会としても頼もしく感じています。

学校長挨拶

学校長 山田 修 一



同窓会会員の皆様には、日頃より母校の教育活動に関しまして、多大なるご支援・ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

この度は、同窓会のお力添えを頂き、野球練習用防球ネットの改修並びにトレーニング室の改築を頂きまして誠にありがとうございます。長谷川会長様はじめ、会員の皆様方のご理解とご尽力に對しまして、心より感謝申し上げます。

また、本校が平成十六年度から三年間の指定を受けて取り組んで参りました日本版デュアルシステム推進事業も、平成十八年度末を持ちまして、滞りなく終了することができましたが、これも偏に皆様方のご協力の賜と深く感謝致しております。併せて御礼申し上げます。

なお、このデュアルシステムにつきましましては、本校の三年間の取り組みから、この有効性が県教育委員会や関係者に広く認められ、今年度は新たに「いばらき版デュアルシステム」という県の事業となつて、波崎高校が加わり二校での実施となりました。さらに、この事業とは別に六校が「特色ある学校づくり」の視点から、来年度からの導入を目指しております。本校のこれまでの取り組みが評価されたものと、嬉しく感じているところでございます。

さて、本校では学校運営や生徒